



2009
秋季号

ほっと石川



特集

高校生県政ニュース

いしかわの“農”最前線

ほっとトピックス

小松空港 国内線に 新たな航空機が続々

インタビュー

ファッション・エッセイスト

フランソワーズ・モレシャンさん

ふるさとの農業をもっと知りたーい!



小室美友季さん(3年生)
[好きな野菜: トマト]



中出夏希さん(3年生)
[好きな野菜: サツマイモ]

加賀チーム

小松商業高校

NPO法人「ふるさと小松検定」事務局
「小松商業高校の生徒が主体となって実施している“ふるさと小松検定”の事務局をしています。もちろん、ふるさとの農業についても興味津々です」(小屋さん)



前晃介さん(3年生)
[好きな野菜: ナス]

金沢チーム

金沢伏見高校

生徒会
「生徒会と放送部に所属していました。放送部で一度、取材した農業をもっと詳しく調べたいと思い、生徒会の後輩と、農業に取り組む皆さんを取材しました」(前さん)

坂下侑子さん(2年生)
[好きな野菜: キュウリ]



吉田舞さん(3年生)
[好きな野菜: トマト]

能登チーム

七尾東雲高校

家庭クラブ
「クラブ活動の一環として、能登野菜を使ったお弁当を考えました。地元で野菜を作り、商品に生かしている地元企業スギヨの取り組みをサポートします」(吉田さん)

堀内一美さん(3年生)
[好きな野菜: キャベツ]

特集
高校生県政ニュース
いしかわの“農”最前線 … 2

ほっとトピックス
小松空港 国内線に
新たな航空機が続々 ……10

知事の窓 ……12

ほほえみ 石川のボランティア
コールあい(野々市町) ……12

インタビュー
ファッション・エッセイスト
フランソワーズ・モレシャンさん ……13

シリーズ道の駅
内灘サンセットパーク(内灘町) ……14

ふるさと食材図鑑
能登かぼちゃ ……15

Information ……16

表紙について

■シリーズ 子どものいる風景 サツマイモ掘り

実りの秋を迎え、サツマイモの収穫が最盛期を迎えています。県内には、五郎島金時(金沢市)や、かほっくり(かほく市)、能登金時(志賀町)など、ブランド化が進められているサツマイモも多く、世代を超えて大人気の秋の味覚です。今回の特集では、能登・金沢・加賀の高校生が、県政ジュニアジャーナリストとして、農業の新たな取り組みを探りました。取材した方々は皆さん、県内のおいしいサツマイモに負けないほど、ホクホクな笑顔が印象的で、農業の明るい未来を目指して、頑張っているのが現状です。高校生とふるさとの農業を担う皆さんの活躍を、ぜひご覧ください。

表紙イラスト制作/ほんだじり(金沢市在住)

担い手不足の解決が急務

奥能登の全525集落を対象に、県が平成19年度に実施した調査では、後継者のいない農家が90%に達しています。さらに、農業従事者の平均年齢は67歳と高齢化し、「10年以内に営農の継続が困難になる」と答えた人は70%にも上っ

ています。

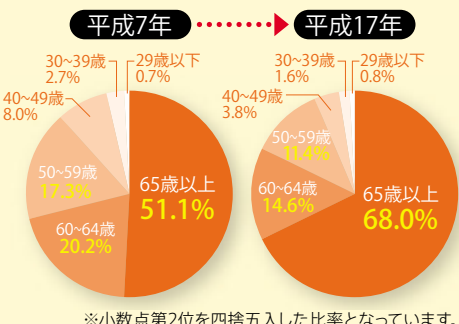
こうした厳しい状況は、県民に十分に届いているとは言えず、農業への理解も進んでいないのが実情です。また、19年度の調査では、耕作を放棄した畑や水田の面積は、約6900haにもおよび、このうち約80%は能

登地域に集中しています。

県では、これらの課題の解決に向け、今年4月に立ち上げた「(財)いしかわ農業人材機構」が中心となって、プロ農家の育成をはじめ、県民全体が農業を応援する仕組みづくりや耕作放棄地の解消に取り組んでいます。

農業従事者の年齢別構成(石川県)

出典/農林業センサス



「ふるさとの農業はどうなっているの?」そんな疑問を胸に、七尾東雲高校・金沢伏見高校・小松商業高校の生徒が、石川県の農業の未来像を探るため、県政ジュニアジャーナリストとして、農の最前線に取材に出かけました。

日本の食料自給率は、先進国の中では最低水準となる40%で、大部分を輸入に頼っているのが現状です。さらに、農業従事者の高齢化が進み、担い手不足も深刻な問題です。

一方で、農業再生に向けた動きも活発化していて、県では、「企業の農業参入」「人材育成」「地産地消」など、さまざまな取り組みに力を注いでいます。

県内各地で 新たな取り組み進行中

上野組 輪島市 建築資材を生かし “細屋ゴボウ”復活へ

平成20年に県内の建設業者として初めて、農業に参入した上野組（輪島市）の取り組みを紹介します。



上野組社長 上野吉夫さん

上野組が栽培するのは、輪島市三井町細屋地区で昔から作られてきた特産の“細屋ゴボウ”です。身が柔らかく、風味が自慢のゴボウですが、土中に1m近くも伸びるため収穫に大変な労力が必要なことから、農家数の減少や高齢化で生産量が激減していました。

上野組では、収穫の手間を省くため、建築資材の型枠を組み、その中に土を入れてゴボウを育てるユニークな栽培法を考案。型枠は組み立てや解体が手軽で、枠を外して土を崩せば簡単にゴボウが収穫できます。

昨年の生産量は約300kgで、今年はその3倍を見込んでいます。さらに、消費を増やし、付加価値も高めるため、金沢大学や金沢市の食品メーカーと連携し、ゴボウを使ったタルトやまぜご飯などの商品化に力を入れています。上野吉夫社長は、「来年度からは、能登空港近くの耕作放棄地で

サトイモの栽培をスタートします」と話し、軌道に乗り出した農業事業に意欲をのぞかせています。



▲特色ある栽培法について教えてくれた農業事業責任者の石下哲雄さん



▲北陸工場は、全国に先駆けて、平成9年に食品安全管理システム「HACCP（ハサップ）」の認証を取得しています

トされ、商品加工を行う北陸工場に運ばれています。工場では野菜を洗浄・殺菌した上で金属探知機を通して異物が入らないよう

細心の注意を払い、従業員にはヘアネットなどの着用を義務づけています。安心しておいしく食べられる商品为消费者に届けるための衛生管理の厳しさに非常に驚きました。

また、魚肉に野菜を加えて揚げた人気商品「加賀揚」は、自社農場で生産したキャベツとニンジンを使う12月から2月までは「能登島野菜入り」のシールを張り、北陸限定で販売しています。スギヨならではの地産地消商品の評判はよく、加工部門を担当する川上和孝課長は、「売り上げが20%〜40%は伸びています」と教えて



▲能登島野菜の使用を示す特別シールを張った北陸限定の加賀揚

ジャーナリストMEMO

農業参入 サポートデスク

企業からの各種相談への対応をはじめ、市町や農林総合事務所、(財)いしかわ農業人材機構などの関係機関と連携し、農業参入を支援する県の窓口。参入企業に対して、農業に必要な機械・施設の整備、加工品の試作、販売調査などの経費も助成しています。

これまでにない 発想力に期待

県農業政策課 山本さんに聞く！



県農業政策課の山本佳行さんに、農業分野への企業参入の現状や県のサポート体制についてお話を聞きました。

— 県内では何社の企業が農業事業を始めていますか。 —

平成17年の国の制度改正で、制限のあった企業の農業参入が認められました。県内では現在、建設業や食品製造業などの14社が農業分野に進出しています。

— 地域・会社にとって、どのような効果が期待できますか。 —

企業参入は、地域の農業の活性化や耕作放棄地の解消につな

がります。また、上野組のように独自のノウハウと独創的な発想による取り組みは、地域に大きな活力を与えるものと思います。企業にとっては、新たなビジネスチャンスが生み出されるとともに、地域農業へ貢献することでイメージアップなどが期待できます。

— 参入を促すには、行政のサポートも不可欠ですね。 —

はい。県では、企業の農業参入を促すため、平成19年1月に「農業参入サポートデスク」を農林水産部

内に設置しました。多岐にわたる支援メニューをそろえていますので、お気軽にご相談ください。

— ありがとうございます。企業の参加でビジネスとしての農業の魅力も磨かれていくことが分かりました。 —



▲「商品に最適な品種のキャベツを栽培しています」と半澤さん

耕作放棄地を中心に 17haの農場を整備

能登島にあるスギヨファームでは、キャベツやニンジン、タマネギなど10種類以上の野菜を栽培し、大部分を自社商品の原料に利用しています。スギヨは、平成19年5月に県内の企業第1号として農業参入しました。現在、能

わたしたち能登チームが向かったのは、カニ風味かまぼこやちくわなどの魚肉練り製品の加工・販売を手がける地元企業スギヨです。同社では、2年前から農業分野に進出し、七尾市能登島で野菜を育てています。



最前線 レポート① 企業の農業 参入

赤土で育てた 能登島産野菜を 自社商品に活用

能登島の耕作放棄地を中心に島内4カ所計17haの農地を借り受け、5人の農場スタッフが県内でも有数の規模で野菜づくりに取り組んでいます。

農業に参入した一番の理由は、原材料から自社生産して食品の安全と安心をより高めるため、肥料や作業内容など栽培に関する細かなデータを記録しているからです。取材に訪れた農場では、収穫間近の大きなキャベツが一面に広がっていました。半澤咲子農場長は、「化学肥料や農薬をなるべく控えたエコ栽培に努めています。野菜は、能登島特有の赤土からの栄養分をじっくりと蓄えるので、とってもおいしいですよ」と、品質に太鼓判を押します。

さらに、「自然が相手ですから計画通りに進まないことも多く、育て方や品種などを工夫しなければ

ればなりません。苦勞した分、おいしい野菜が収穫できたときは、喜びもひとしおです」と半澤さん。農業のやりがいについて話す笑顔が、とても印象的でした。

産地PRで 売り上げアップ

続いて訪れたのは、スギヨ北陸工場（七尾市）です。自社農場で収穫した野菜は本社工場でカッ



▲川上さん(左)の話によると、自社で生産拠点を持つことで、材料の安定的な供給にもつながっているそうです



スギヨ産の野菜は、地元スーパーでも販売しています

「農家の出身ではなく、県外から来た社員も多いんですよ」と教えてくれたのは、園芸課で野菜栽培を担当する川口菜穂さんです。

六星社員の平均年齢は32歳。就農者が活躍する六星です。六星は社員34人、パート20人が勤める農業の企業経営体で、130haという広大な農地でお米と野菜をつくり、直売所やインターネットを通して販売しています。扱う商品はとれたての農作物だけでなく、それを加工したおもちや漬物などさまざま。直売店は白山市や金沢市からのお客さんににぎわっていました。

六星
平均年齢32歳、
東京からも就職！

続いておじやましたのが、若い就農者が活躍する六星です。六星は社員34人、パート20人が勤める農業の企業経営体で、130haという広大な農地でお米と野菜をつくり、直売所やインターネットを通して販売しています。扱う商品はとれたての農作物だけでなく、それを加工したおもちや漬物などさまざま。直売店は白山市や金沢市からのお客さんににぎわっていました。

河北潟にあるいしかわ耕稼塾の研修場で、講師の北良雄さん(右)に教わりながら、初めて白菜を収穫しました



金沢チームでは、実践的な農業のノウハウを指導し、就農者を育成する「いしかわ耕稼塾」を1日体験しました。さらに、農業の企業経営を進める担い手の方にもお話を聞きました。

県民一人ひとりが
次代を担う若い力を
サポート

いしかわ耕稼塾
農業のノウハウを
一から学ぶ

体験したのは、栽培法を基礎から学ぶことができるコース「予



▲講義では、受講生の皆さんから農作業に携わる中で感じたさまざまな疑問や質問が出ていました

科」です。このコースは開講が週1回のため働きながらも通いやすく、農業の知識・技術がなくても無理なく受講できます。

1日体験では、まず病気や害虫を防ぐための農薬の使用法や栽培管理などについての講義を受けました。先生のお話によると、被害を最小限に食い止めるには毎日のチェックが欠かせず、農薬を使う際も時期や量など気をつけなければならない点がある

仕事が情報発信です。毎月、作業状況や商品などに関するニュースをまとめた情報紙「たあーんと六星」を編集し、来店者や通信販売のお客さんに届けています。「農家のそのままの姿を、消費者の方に知ってほしいんです。それが商品への安心感と、農業に関心を持ってもらえるきっかけにつながると思っています」と川口さん。

六星を取材し、職業としての農業の魅力を感じました。また、農地の大部分は地域の方々から借りているものと聞き、若者が地元の方々とともに地域の農業を支えているのだと実感しました。

いろ。考えていた以上の注意点多さに、とても驚きました。予科の受講生の皆さんが育てた白菜や大根などの収穫作業にも参加しました。スパーで見かけるカットされたものと違い、葉が伸びた土付きの野菜は、とった瞬間に両手にずつしりとくる重さです。

現在、予科には30人が参加していて、金沢市内の30代の会社員女性は、「ゼロからのスタートでしたが、農業の大変さを知るとともに、やりがいも見えてきました」とのこと。わたしたちも1日だけの体験でしたが、農業の難しさや収穫の喜びを少しだけ感じる事ができました。

いしかわ耕稼塾の多彩なカリキュラム

<p>農業を体験したい方、興味のある方、関連企業 いしかわの農業学ぼうコース など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農作物の種まきから収穫までの一連の農作業体験 ○農業の大切さや役割などについての事例紹介や意見交換 など
<p>農業を始めたい方 予科、本科、専科、奥能登実践科 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農家のもとでの短期の農作業実習(きっかけづくり) ○研修場での基礎的な栽培・経営技術の実習・講義 ○研修場や農家のもとでの実践的な訓練 など
<p>農業に携わっている方 経営革新スキルアップコース など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○企業的な経営者(プロ農家)へのレベルアップに向けた各分野の専門家による演習・講義 ○経営の円滑な継承に向けた手法等を学ぶ講座 など

※このほか、現状の課題に沿った特別講座を開催

ジャーナリストMEMO

いしかわ耕稼塾

耕稼塾では農業に関心のある方、始めたい方、経営をレベルアップしたい農家の方など、いろいろな目的・ニーズに応えられるようバラエティーに富んだコース・カリキュラムを用意しています。

▼受講生が好きな作物を育てられる研修場もあります



▲【上】直売店(白山市橋爪町)には旬の野菜や自社で加工した商品がずらり
【左下】野菜のハウス栽培に力を入れる川口さん(中央)
【右下】情報紙を付けて、お客さんに商品を発送しています

消費者の
皆さんも
農業人材

いしかわ農業人材機構
高枝さんに聞く！

今年4月に発足した「いしかわ農業人材機構」のアドバイザー高枝正成さんから、いしかわ農業人材機構の役割と県の取り組みを教えてくださいました。

—機構の役割は何ですか。
農業にかかわるあらゆる課題に対するワンストップ窓口であり、農業人材の育成と農業への新規参入のマッチングを行っています。
—担い手の育成・確保に向けた特色ある取り組みを教えてください。
耕稼塾では、企業経営を目指す農家向けに「経営革新スキルアップコース」を開設しています。また、新しく農業を始めたい方をきめ細かく支えるため、就農までの

道筋を示し、研修先や就農地をマッチングするコーディネーターを今年4月に5つの農林総合事務所に配置しました。

—機構では、県民全体を農業人材にとらえていると聞きました。
その通りです。農産物の流通業者や食品企業、そして県内農産物の消費者も農業を支え、応援する人材の一員です。農業の発展には、消費者の皆さんに農業を身近に感じていただくことが不可欠と考えています。そのため、消費者が農業を体験する

「いしかわの農業学ぼうコース」を開くなどの活動に力を入れています。今後は、公開講座やシンポジウムの開催を計画しています。
—ありがとうございます。農業人材の育成には、わたしたち消費者も深くかかわっているんですね。

道筋を示し、研修先や就農地をマッチングするコーディネーターを今年4月に5つの農林総合事務所に配置しました。

—ありがとうございます。農業人材の育成には、わたしたち消費者も深くかかわっているんですね。



“地産地消”をテーマに 街頭インタビュー



小松商業高校の年に一度のビッグイベントが、「小商フェスティバル」です。毎年10月、各クラスで地元商店街と協力し、開発した商品を販売していて、中には地産地消にちなんだものもいっぱい。そこで、来店者の方に「地産地消」に対するイメージについてインタビューしました。

「輸送面などを考えてもエコにつながるの、スーパーでは地元の野菜を買うようにしています」

大幡英一さん・純子さん
(小松市在住)

まちの声②



「長年、親しんだ水で育った野菜は、やはりおいしいですね。身近なところで生産されたものは、安心感もあります」

広瀬貴子さん・月渚ちゃん
(小松市在住)



▲大谷さんによると、東京ストアーでは、約20年前から地元食材の販売に力を入れ始めたそうです

東京ストアーでは、ふるさとの農業に興味を持ってもらい、地産地消に結び付けるため、お客さんが参加する産地見学会を実施しています。「先日、JA小松市と協力してトマトの生産現場の見学ツアーを企画したところ、定員を大幅に上回る応募が寄せられました」。大谷さんはこう話し、食の安全を求める声の高まりに比例して、地元食材への関心が高まっていると感じているようです。地域の活性化はスーパーの売り上げ増にもつながるため、これからも地元食材の魅力を伝え、販

ジャーナリストMEMO

フード・マイレージ

食品の生産地から消費地までの輸送にかかるエネルギー消費量を、「食材の重さ×距離」で表した数値。食料を海外からの輸入に頼る日本は世界でも群を抜いて値が高く、積極的に地産地消に取り組んでいくことが大切です。

売促進に力を注いでいくのと、地産地消の取り組みを強め、県内の農家の皆さんを少しでも支えていきたい」と大谷さん。わたしたちもおいしく安心な「じわもん」を食べて、石川の農業を少しでも応援していきたいと思いました。



▲10月に東京ストアーが主催した小松市のトマト産地見学会には、多くの親子連れが参加

夫もされていきました。さらに、地産地消は生産地から販売店まで商品を輸送する距離が短く、二酸化炭素などの排出量が抑えられます。「地物野菜は段ボール箱ではなく、コンテナを使って運ぶこともできます。何回も反復して使え、その点でもエコですね」と大谷さん。地産地消は環境面でもメリットが大きいことが分かりました。

産地見学会に 定員を超える応募



▲地物コーナーには、小松市産のトマトをはじめ、県産の旬の味覚がめぐる押しです

身近なスーパーから じわもんの 魅力を発信

わたしたちが訪ねた東京ストアーは、県と連携し、地元食材の販売に力を入れる地産地消推進

最前線 レポート③ 地産地消



加賀チームが調査したテーマは、地元で生産した食材を地元で消費する「地産地消」。最近、新聞やテレビのニュースなどでよく耳にするこのキーワードの具体的な取り組みを、地元スーパーで探りました。

安心とおいしさが ぎゅっしり

協力店のひとつです。取材した小松市の幸町店では、店内に入ると目の前に県産のトマトやサツマイモなどの野菜が並ぶ地物コーナーを設置して



▲県が定めたシンボルマーク入りのぼりは、推進協力店の店頭に置かれています

います。地産地消をアピールするポップ広告や「加賀野菜」の言葉が入ったのれんなども飾られていて、「鮮度がよく栄養分が豊富でおいしい、じわもん(地物を指す石川の方言)は、ぜひおすすめしたい商品です。ですから、一番目立つ場所に置いているんですよ」と、同社店舗運営部の大谷

均さんは教えてくれました。また、産地に足を運びやすく、栽培の様子を見られることも、じわもんをお客さんに自信を持っておすすめできる理由だそうです。野菜の中には、生産者の名前と顔写真付きで販売しているものもあり、顔が見えることで消費者がより安心して購入できる工

魅力ある食材を金沢へ 奥能登直往便 を追跡調査

県では、穴水町以北の2市2町やJAなどと連携し、奥能登の食材を集荷し、金沢市中央卸売市場に毎日出荷する「奥能登直往便」事業を今年7月、本格的にスタートしました。数量が少なく直売所にしか出回らなかった食材の掘り起こしや、地元食材を県内全域で消費する「地産地消」の推進につなげるのがねらいです。農家にとっては、収入の増加のほか、消費者ニーズに応える生産にもつながります。

撮影協力/JA内浦町

1日目

□収穫 AM10:00
能登町越坂(おっさか)地区の農家9世帯でつくる「越坂ゆめり会」が栽培する“ワサビ菜”を収穫しています。

撮影協力/丸果石川中央青果

2日目

□袋詰め・出荷 AM10:30
午後から専用トラックが能登全域を回り、袋詰めした商品を載せ、金沢に向かいます。

撮影協力/サイダフルーツ

□競り AM6:00
翌朝、競りにかけられます。「質は高く、これからもっと量が増えてほしいですね」と市場関係者の評判は上々。

撮影協力/サイダフルーツ

□店頭 AM10:00
収穫から24時間後には、金沢市内のデパートなどの売り場に、さまざまな種類の奥能登食材が並びます。

▲生産者の名前入り専用シールが奥能登直往便の目印

ニーズに合った 栽培につながる

県南加賀農林総合事務所
松本さんに聞く！

地産地消のメリットや推進策などについて、県南加賀農林総合事務所の松本淳さんに質問しました。

—生産者側にとってはどのようなメリットがありますか。

販売者が身近にいることで話し合いの機会が増え、消費者の声も届きやすく、ニーズに合った作物の栽培に生かすことができます。

—地産地消を推進するための県の取り組みを教えてください。

シンボルマークを作り、推進協力店にのぼりを出すなどして県民にPRしています。また、県庁と県内の農林総合事務所に今年1月、

地産地消サポートデスクを設置しました。生産者と飲食店、流通業者などを結び付けるコーディネートや相談業務に力を入れています。

—地産地消の大切さを、より多くの人に知ってもらうためには今後、何が必要ですか。

地元食材の魅力を、もっと知っていただくことだと思います。石川には、豊かな食文化を支える素晴らしい食材がたくさんあります。おいしい、安心、エコと三拍子そろった“じ

わもん”を、ぜひ召し上がってください。

—ありがとうございます。取材を通して、地元食材のよさも再発見できました。



小松空港 国内線に 新たな航空機が続々



静岡便
小松から55分で
「ふじのくに」へ
新割引サービスがスタート



小松空港の国内線では今年、静岡便が就航したほか、仙台便、札幌便で新たな航空機の運航が始まり、現在、石川と全国7都市を5つの航空会社が結んでいます。これだけ多彩な顔ぶれがそろった地方空港は数少なく、これを機に、県ではさらなる利用促進に取り組んでいます。

※東京・成田・札幌・仙台・静岡・福岡・那覇

就航7月
鹿兒島への
乗り継ぎも便利

今年7月就航の静岡便は、静

岡県の航空会社フジドリームエアラインズ(FDA)が小松空港と富士山静岡空港をわずか55分で結びます。陸路で片

道約4時間かかる静岡へのアクセス時間が4分の1に短縮でき、観光やビジネスなどでの利便性が格段に高まりました。11月出発分からは、普通運賃が片道2万800円へ引き下げられました。さらに、新たな割引サービスも導入。片道1万3千円からの3段階の割引運賃が設定され、空席状況によつては、出発前日でも割引サービスが受けられます。

また、7月には、静岡県内に石川県人会が発足したほか、両県内の都市同士が協定を結んだり、スポーツを通して子ども同士が触れ合ったりと、各方面で交流が進んでいます。県でも、静岡県と連携し、「白山と富士山」「日本海と太平洋」など、両県の特徴を組み合わせた広域観光ルートの確立につなげていく計画です。

静岡石川県人会が発足



また、7月には、静岡県内に石川県人会が発足したほか、両県内の都市同士が協定を結んだり、スポーツを通して子ども同士が触れ合ったりと、各方面で交流が進んでいます。県でも、静岡県と連携し、「白山と富士山」「日本海と太平洋」など、両県の特徴を組み合わせた広域観光ルートの確立につなげていく計画です。

また、7月には、静岡県内に石川県人会が発足したほか、両県内の都市同士が協定を結んだり、スポーツを通して子ども同士が触れ合ったりと、各方面で交流が進んでいます。県でも、静岡県と連携し、「白山と富士山」「日本海と太平洋」など、両県の特徴を組み合わせた広域観光ルートの確立につなげていく計画です。

富士山静岡空港で物産展が開催されました

今年7月、富士山静岡空港で石川県の物産展が開催されました。9日間の期間中は、金箔や輪島塗、九谷焼といった伝統工芸品、県内のオリジナルお菓子などを販売。空港を利用する全国各地の方々にご来場いただきました。11月14日から23日にかけて、2回目の開催が予定されています。

日本一から 探る静岡の魅力



自然や食、文化など、多岐にわたるスタイルの旅を楽しむ「ふじのくに」静岡県。富士山をはじめ、さまざまな「日本一」を誇ります。

車窓からの眺めもおすすめ(島田市)



日本一の急坂を上り下り
大井川鐵道で旅情を満喫

大井川鐵道(島田市金谷-静岡市井川)は、日本一の急こう配を上り下りする国内唯一のアプト式鉄道を採用したり、SLを運行したりするなど、大人も子どもも楽しめます。

石川県の皆さん、遊びに来てください

第21代
ミス富士山
グランプリ
塩澤希実さん

生産量が日本一 大茶園に目を奪われる

静岡県はお茶の生産量が日本一。5月には各地で萌黄色の茶畑が見られます。お茶摘みや茶道の体験、製茶工場の見学、お茶料理などを楽しめる施設が数多くあります。



茶畑と富士山を望む絶景(富士市)

B-1グランプリ優勝回数日本一 ご当地グルメいっぱい

海の幸やうなぎ、フルーツなど、1年を通しておいしい魅力が満載です。特に、最近注目されているのが、ご当地グルメ。手ごろな価格の郷土食が集まった「B-1グランプリ」では、富士宮やきそばが最多優勝を誇ります。ほかにも、静岡おでんや浜松餃子など、ご当地グルメがいろいろ。ぜひご賞味ください。



静岡おでん(静岡市)



浜松餃子(浜松市)



富士宮やきそば(富士宮市)

写真提供 静岡県観光協会

仙台便

高級感漂う次世代機 杜の都へ1時間

杜の都までわずか1時間の小松-仙台便では、9月からアイベックスエアラインズ社が運航を開始しました。就航するのは、日本初登場の飛行機となるCRJ700型次世代機。客席はすべてライトグレーの革張りシートで、70人乗りの

小型機ながら揺れが非常に少ないのも大きな特徴です。高級感ある空間で空の旅をゆったりと楽しめます。夕方に離発着するため、観光だけでなく、東北地方への出張などビジネスでも利用しやすいです。



環境に配慮し、従来に比べ二酸化炭素排出量を抑えた次世代機

仙台発	小松着	小松発	仙台着
17:20	18:30	19:00	20:00

札幌便

エア・ドゥが運航開始 乗ったときから北海道気分!

小松-札幌便は、北海道国際航空(通称:エア・ドゥ)が11月から運航を開始しました。エア・ドゥでは、ドリンクや音楽など、北海道にこだわったサービスに取り組んでいて、飛行機に乗ったときから北海道気分を味わえます。

また、エア・ドゥ就航を記念して11月1日~12月25日の期間、小松-札幌便を往復でご利用の方を対象に、県立航空プラザ臨時駐車場を無料開放します。魅力あふれる北の大地へ、この機会に出かけてみてはいかがでしょうか。



ボーイング737型が北海道までの快適な旅を演出

札幌発	小松着	小松発	札幌着
12:35	14:20	15:00	16:30

能美市にある「いしかわ動物園」が、今年10月で開園から丸10年を迎えました。園内には現在、約170種、4千点の動物がいて、わたしも度々訪れます。長寿日本一のカバ「テカバあちゃん」や、ガラス越しに人とのスキンシップを楽しむかのようなしぐさを見せるオランウータンなど、何度見ても飽きません。

毎年期間限定の開催ですが、動物たちの夜の生態を観察する「ナイト・ズー」もおすすめです。これは、視察先のシンガポールで夜間だけ開園する動物園を訪れ、のんびりとした昼間の様子から想像できないほど活発に動き回る動物の姿に驚き、「この面白さを石川県でも」と平成16年に始めました。今年は8月と10月に計9回開き、実に4万人を超える方々が来園される人気イベントになっています。

動物園には、年齢を問わず人を感動させる魅力があるとつくづく思い



おかげさままで丸10年 進化する いしかわ動物園

ます。例えば、生まれたばかりの子ザルを大事に抱きかかえるテナガザルの母親のこまやかな情愛。そして、お乳を一心に飲む子ザルに、命の尊さや力強さを感じずにはいられません。

百聞は一見に如かず。今年春、リニューアルオープンした「トラ・ライオン舎」ではガラス窓をふんだんに使い、トラやライオンを間近で安全に見られる工夫を凝らしています。猛獣の息づかいまで伝わってきて迫力満点です。今後、ヒヨウとイヌワシの展示舎でも同様の改装を行う計画ですので、お楽しみに。

さらに、園内では現在、トキの繁殖ケージの工事が進んでいます。佐渡からトキを受け入れ、2世誕生の明るいニュースを早く県民の皆さんにお届けしたいと願っています。とにかく、話題満載のいしかわ動物園へ、ぜひお出かけください。心よりお待ちしております。

フランス出身のフランソワ・ス・モレシヤンさんには、今年4月、外国人初の石川県観光大使に就任いただきました。「ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭」のクラシック・アンバサダーを務めたり、「もれしやん塾」を開いたりするなど、県内で約20年にわたってさまざまな活動に取り組まれてきたモレシヤンさんに、石川の魅力や国際化をテーマにお話を伺いました。

知名度はまだまだ

石川県は、九谷焼や輪島塗といった伝統工芸、茶屋街をはじめとした歴史的な街並みなど、大好きな日本文化に数多く触れることができる土地です。しかし、残念なことに、県庁所在地の金沢市でさえ、国際的な知名度は十分とは言えません。東京に暮らすフランス人と話していても、半分以上は金沢を知らないのです。

わたしはこれまで、クリスチャン・デイオールやシャネルといった世界的なブランドの広報戦略に携わってきました。その経験を生かして、石川の魅力を広く発信し、石川ブランドを国内外に高め



ようと、わたしなりに意気込んでいるところです。

ふるさとに誇りを

県民の皆さんにもお願いがあります。伝統文化という石川が世界に誇れる宝物に、もっと自信を持ってください。そして、ぜひ次世代に引き継いでいってほしいと思います。例えば、黒瓦の町家を取り壊して駐車場や高層ビルにしたり、生活面で快適さを求め過ぎたりすると、石川の魅力は大きく損なわれてしまいます。

わたしのふるさとパリは、石川同様に歴史的な街並みが色濃く

石川の伝統文化は 世界に誇れる宝物

smile 石川のボランティア

ほほえみ

会場みんなで大合唱！
普段着の
コンサートが人気

コールあい
(野々市町)

レパートリーは100曲

「コールあい」は、高齢者福祉施設をはじめ、保育所や障害者福祉施設などを訪れ、毎月、ミニコンサートを開いているコーラスグループです。レパートリーは100曲近くにも上り、童謡を中心に、昭和初期から現代までのヒット歌謡曲なども幅広くそろえていて、慰問先や季節によって披露する曲目を選んでいるそうです。

「どの曲もおなじみのものばかりです。わたしたちだけでなく、会場に集まった皆さんで大合唱していますよ。」代表の大深伸尚さんが笑顔で話すように、コンサートはいつも肩ひじ張らずに楽しめる和気あいあいとした雰囲気にあふれています。

グループが発足してから12年がたち、



ミニコンサートには、メンバーも普段着で参加。歌う側、聴く側ともに気負わずに楽しんでいます

現在、メンバーは50代から70代までの20人。会社員や主婦など、さまざまな方が参加し、訪問日を含めて毎月3回、練習に励んでいます。

「高齢者や子どもたちがうれしそうに歌ってくれる姿に、わたしたちも元気をもらっています」と大深さん。合唱後には、「また来てね」と声をかけられる機会も多いとのこと、たくさんの方の笑顔に包まれたコンサートは、これからも続きます。



現在、新メンバーを募集中。コーラスの経験がなくても、歌好きであれば、どなたでも参加できます

●問い合わせ
コールあい
代表 大深伸尚
TEL 076(248)1503 (担当:塚本智佳子)

ほっと石川 | インタビュー

ファッション・エッセイスト

フランソワーズモレシヤンさん

フランス・パリ出身。ソルボンヌ大学、パリ東洋語学校日本語科を経て1958年に初来日。NHK「楽しいフランス語」の講師を務める。64年に帰国し、74年シャネル美容部長として再来日。90年、加賀市でライフスタイルについて学ぶ「もれしやん塾」を開催。2004年フランス政府最高勲位レジオンドヌール勲章、09年フランス国家功労勲章「コマンドゥール」受章。主な著書に「失敗しないおしゃれ」など。現在、「日本」[エレガンス]をテーマに2冊の新作を執筆中で、東京、金沢、パリを行き来する生活を送っている。

残り、市民の心に文化を守る意識が当たり前のこととして根付いています。国も積極的に支援していて、建物を昔ながらの技法で修繕できるように学校を設立し、職人の育成に力を注いでいます。

芸術が感性を磨く

伝統文化を知ること、ファッションセンスを磨くことに通じます。よくファッション流行と見られがちですが、全くの誤解です。ルネサンス時代の洋服、第2次世界大戦中のパ리지エンスのおしゃれなど、ファッションはその背景にある歴史や芸術文化

を理解して初めて語るることができます。そして、それを知らなければ、ファッションは表面的な色や形を追うだけの深みのないものになってしまうのです。

わたしの母は、画家で芸術大学の先生をしていました。おかげで、小さなころからさまざまな芸術に触れることができ、それがファッションの世界に入るきっかけにつながっています。

芸術文化が身近にある石川県の皆さんは、その点でも恵まれています。例えば、食器にすぎない焼き物や漆器を使うなど、普段の暮らしに少ししいから質の高いものを取り入れることで、感性が磨かれていきますよ。



こだわりの生む
濃厚な甘みと
ホクホク感



撮影協力/JAすずし南瓜部会

ふるさと
食材図鑑

22

能登かぼちゃ

旬 …7月～8月、11月～12月
主な産地…能登全域

関西で人気の ブランド野菜

能登かぼちゃは、作り手のこだわりがぎゅっと詰まった能登野菜です。おいしさを十分に蓄えられるよう、1本のツルで育てる実はたったの1つだけ。さらに、収穫前には試し切りをし、完熟しているかを見極

め、収穫後も追熟した上で出荷しています。
能登の里山でじっくりと育てられた能登かぼちゃは、濃厚な甘みとククリに似たホクホクとした食感が楽しめます。
そのおいしさは県内だけでなく、県外でも評判が高く、特に関西の市場では、ブランド野菜として人気を集めています。

料理紹介

ちょっとひと工夫

能登かぼちゃとムカゴの ミートソースグラタン

カボチャは、ビタミンやカロチンなどが豊富な緑黄色野菜で、生活習慣病の予防に効果があると言われています。そんな栄養満点な能登かぼちゃを市販のミートソースを使い、手軽でおいしいグラタンに仕上げました。

材料(4人分)

- 能登かぼちゃ…………… 1/4個
- ムカゴ……………20粒
※大きめのものを選び、コンソメで煮る
- むきエビ……………20尾
※ボイルしておく
- コンソメ……………適宜
- 市販のミートソース……………1缶
- ピザ用のチーズ……………適宜

作り方

- 1 能登かぼちゃの種を取り除き、皮はある程度残しながらむく。
- 2 食べやすい大きさにカットし、コンソメを入れたスープをひたひたになるまで加え、身が崩れないように煮る。煮えたら、味をしみ込ませるため、しばらくの間、休ませておく。
※沸騰させないようにじっくりと煮込むのが、身を崩れさせないコツです。
- 3 市販のミートソースと煮汁の一部を合わせ、味を整えてソースを作る。
- 4 耐熱用の器に、能登かぼちゃとムカゴ、むきエビを盛り、ソース、チーズを振りかけ、200度のオーブンで15分間、焼けば出来上がりです。



あま～い魅力がいっぱい! 恋人の聖地で ロマンチックなひととき

シリーズ
道の駅
内灘サンセット
パーク
(内灘町)
16



地元野菜やお花なども扱っています

オススメ 人気商品トップ3を紹介!



恋人の聖地認定記念の
大判焼き 1個140円



アカシャハチミツ 1260円



牛乳ソフト 300円



駅長 川上充紀さん

さわやかな潮風が届く展望スペースでゆったりとくつろげます

DATA



道の駅 内灘サンセットパーク

内灘町大学1-4-1
TEL 076(282)7080
ホームページ www.usp-plan.com
◎ 午前10:00～午後7:00
㊤ 無休



道の駅「内灘サンセットパーク」は、能登有料道路内灘ICから車で3分の場所にあり、近くに内灘大橋(サンセットブリッジ内灘)や河北潟、日本海、遠くには白山連峰と、今年4月、恋人の聖地となった内灘町を代表するロマンチックな景観が楽しめる、幅広い世代のカップルや家族連れでにぎわっています。
さらに、駅内には、恋人たちがよりスイートな時間を過ごせるスイーツもいっぱい。牧場直営店が販売するソフトクリームやジェラート、もっちりもちの皮が特徴の大判焼きは、ぜひ味わってほしい人気商品です。
内灘町にお越しの際は、サンセットパーク内灘であま～い魅力をお楽しみください。
※恋人の聖地：NPO法人地域活性化支援センター(静岡県)が認定した魅力ある観光地

道の駅 約3分 ハМанас恐竜公園

恐竜型遊具が人気



高さ5メートルの恐竜の像が目を引くユニークな公園。恐竜の形をした大型遊具があり、すべり台やアスレチックなどを楽しく元気に子どもたちでにぎわっています。

道の駅 約1分 内灘町総合公園

展望台からの眺めがおすすめ



テニスコートや自転車競技場などがそろった複合スポーツゾーン。展望台からの眺め(写真)もおすすめで、河北潟や日本海などを一望できます。
☎076(286)1111
(内灘町役場)

ひと足伸ばして
行ってみよう!

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会

平成22年

ねんりんピック石川2010

10月9日(土)
~12日(火)

光る汗! 輝くいしかわ 笑顔の輪

平成22年10月9日(土)~12日(火)の4日間、「ねんりんピック石川2010」を開催します。

県内13市町を会場に、60歳以上の方を対象として行われる24種目のスポーツ・文化の交流大会には、全国から約1万人の選手が参加します。温もりある出会いとおもてなしの心にあふれた大会となるよう、ご協力をお願いします。

このほか、年齢にかかわらず、だれもが楽しめるイベントも盛りだくさんです。ご期待ください。

大会内容

- 総合開会式・閉会式
- スポーツ・文化の交流大会 (24種目)
- ファッションショー
- 美術展
- 音楽文化祭
- 健康フェア
- 地域文化伝承館 など



石川のみなさん
こんにちは。
大会マスコット
“ゆーりん”です

● 問い合わせ 第23回全国健康福祉祭いしかわ大会実行委員会事務局

TEL 076 (225)1951 Eメール nenrin@pref.ishikawa.lg.jp ホームページ www.pref.ishikawa.jp/nenrin/

石川県広報誌「ほっと石川」秋季号(年4回発行)

通巻第54号

平成21年11月12日発行

石川県県民交流課広報広聴室

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

076(225)1362 広報

石川県ホームページ www.pref.ishikawa.jp/

広告

住宅の新築・購入・借換えのご相談は 北國銀行のローンセンターへ。

土・日・祝日も
ローン相談
受付中!
※12/31・1/1~3は
お休みです。

北國ローンセンター

☎ 0120-117-660

金沢市下堀町1(本館隣り) 平日/10:00~18:00
土・日・祝/10:00~17:00

金沢西部ローンセンター

☎ 0120-336-323

金沢市新神田5-3 (金沢西部支店隣り) 平日/10:00~18:00
土・日・祝/10:00~17:00

県庁前ローンセンター

☎ 0120-606-889

金沢市鞍月5-181 AUBEビル1F 平日/10:00~18:00
土・日・祝/10:00~17:00

野々市ローンセンター

☎ 0120-399-606

石川郡野々市町横宮町 19-1(野々市支店内) 平日/9:00~17:00
土・日・祝/10:00~17:00

松任ローンセンター

☎ 0120-033-216

白山市茶屋2-46-1 (松任支店内) 平日/9:00~17:00
土・日・祝/10:00~17:00

小松ローンセンター

☎ 0120-033-038

小松市福乃宮町2-113 (小松南支店隣り) 平日/10:00~18:00
土・日・祝/10:00~17:00



北國銀行
http://www.hokkokuken.co.jp

前略 石川県知事

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、
郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて
TEL 076 (225) 1362 FAX 076 (225) 1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。
県外在住のご協力者を紹介してください。

● 問い合わせ
石川県県民交流課 TEL 076 (225) 1361
www.pref.ishikawa.jp/kenmin/furusatonouzei/



環境保護のため、大豆インクを使用しています。紙は資源です。リサイクルしましょう。